

質問



岸野 雅人

温泉通りの電線埋設への取組みは

答 弁 積極的に関わり、支援をしたい

現在の温泉通り 電線埋設地元案作成中です



問 12月16日、温泉通り「ぶらり」で会議がありました。
・電線は地中に埋設しよう。

・現状の11メートル幅の道路。
・段差がごく少ない両側の歩道。幅は対面通行にするか、一方通行に

するかで決定。
・街路灯も合わせて考えねば。
・概ね、そういうお話しでした。

このように現在、温泉通り事業協同組合の主導により、この課題への取組みがなされています。課題をめぐる行政的な環境をいかに捉えているか。

答 新潟県は、地元案の事業化を平成26年度からの第7次無電柱化協議会へ進めたいとしている。また観光庁のブランド観光圏観光地作り実践プランとなるよう取組んでいる。

問 いつまでどこまで決まれば、電線地中化は実現できそうか。

答 平成25年度中に地元案ができることが望ましい。事業採択され無電柱化協議会へ進みたい。

問 事業化の限界は3月か？

答 3月末までに地元案を作成いただきたい。

問 電柱埋設へ向けて、温泉通りが直面している問題点は？

答 温泉通り事業協同組合は一生懸命にやってお

られるが、具体案の図面化が未完成のため、地域で十分な理解がされていないのが現実。

問 では、急ぎ事業化に向けて行政が窓口とならなければならない。いかに考えか。

答 積極的に関わってゆきたい。成し遂げるための支援を積極的に考える。

問 どんな通りを目指し、またその体制と意気込みは？

答 観光の町湯沢の顔として景観に配慮した歩行者空間となり、他とは一味違う温泉通りを目指したい。

官民の組織が一緒にやって事業を推進すべく、雪国観光圏の体制強化を図り、支援をしたい。

その他の質問

●スキー場安全条例と神立高原スキー場への取組みは？

●湯沢学園、4月一部開校しなければならぬ理由は？